

# 柏野だより

2025（令和7）年  
9月号

柏野学区防災まちづくり計画～明日の柏野学区の骨格をつくる安心・安全へ まちの大改造計画～（H30.3）策定後、コロナにより活動が難しい状況にありましたが、この6月から防災の取組を再始動させました。

はじめに「まなび舎」と題して、災害時図上訓練（DIG）を6月3日に実施しました。その後、出てきた意見をもとにまちを見直そうということで「防災まちあるき」を7月6日に実施しました。2回のワークショップで出た意見については裏面に記載しております。



## 防災まちづくりの基本方針と具体的な取組

み  
ち

基本方針1：防災上重要な「みち」を確保し、安全性を高めます

基本方針2：生活道路の利便性を高めつつ、避難できる「みち」づくりに取り組みます

基本方針3：柏野らしい風情ある町並みを残していきます

い  
え

基本方針4：倒れない・燃えにくい「いえ」づくりに取り組みます

基本方針5：安心安全な生活環境にするために、空き家対策に取り組みます

基本方針6：まちの魅力である

京町家の保全や継承に向けて取り組みます

ま  
ち

基本方針7：ゆとりある市街地空間を確保し、まちの防災性を高めます

基本方針8：地域コミュニティを活かした地域防災力の向上を図ります

基本方針9：学区全体で継続してまちづくりを進めていくための  
新たな仕組みや体制づくりを構築していきます

### 参加者の感想（抜粋）

町内の集合場所の意義を理解できました。



まちづくりは、一つ一つコツコツと小さなものから続けていくことが大切と感じました。

町内で消火器やバケツの数や設置場所に偏りがあり、設置場所について再考する必要があると感じた。



継続して行う。各町内の役員が集まる機会がもう少し設ければよいと思います。



# 意見・取組の提案

これらの取組は、役員だけではできません。みなさんが防災に関心をもち、出来る範囲でも構いませんので、ご協力をしてくださいことにより、実現へつながります。

自分の大切な家族や家、柏野の未来を守るために、ぜひ一緒に活動しましょう。

## 地域の集合場所

### こんな取組を進めたい

- ・町内会だけでなく、ブロック単位で消火器の位置の把握をして、初期消火できる体制づくり
- ・各戸への防災・防犯対策の意識づけになるようなシールなどを作成

ご意見

- ・地域の集合場所の銘板を作成しては。この場所の意味や、この後取らなければいけない行動(安否確認、役割分担指示、避難誘導等)を記載する

## 消防器の適正管理

### こんな取組を進めたい

- ・町内会での取組の周知、啓蒙活動により防災意識を高め、消防器の重要性を知ってもらう
- ・町内会だけでなく、ブロック単位で消防器の位置の把握をして、初期消火できる体制づくり

ご意見

- ・町内によって、消防器の個数、管理状況がさまざまである
- ・消火栓の上に、路上駐車などしないように

## 災害時の安否確認

### こんな取組を進めたい

- ・町内会での取組の周知、啓蒙活動により認知してもらうことからはじめる
- ・普段からコミュニケーションが取れる場所、集まる場所づくり(例: 絆カフェ)

ご意見

- ・個人情報により、町内の助け合いがむずかしい
- ・独居高齢者の状況が町内会でも把握ができない
- ・火元(ガス、電気)の確認を周知し、初期消火につなげる

## 危険個所の対策

### こんな取組を進めたい

- ・住宅のリフォーム、相続発生時の建替え時に燃えにくい家へ
- ・家と家の隙間でも災害時は避難路に活用できるようにしておく

ご意見

- ・倒れそうなブロック塀があった
- ・道が狭いので、地震で家が倒壊した場合の避難路が心配